

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2023年1月15日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

2023大軍拡、大增税許さない!!

市民生活破壊の門川市政&オール与党と対決
いのち、くらし守る京都府市政を!

1月2日、東大手筋で御香宮への初詣の皆さんに向けて、毎年恒例の日本共産党の新春宣伝を行いました。4月9日投票予定の統一地方選挙に向けて、府会2名市会3名の現職5人と倉林明子参議院議員が訴えました。西野さち子市議は「昨年から深刻な生活相談が増えています。ところが岸田内閣は5年で43兆円もの軍事費で、アメリカの言いなりで武器の爆買いをずっとしています。国会の審議もなく、戦争にむかう日本へと180度の方向転換をしようとしています。そんなお金があったら、国民の暮らしの応援こそすべきです。門川市長は102億円の黒字になったのに市民負担の押し付けを更に拡大



東大手筋で“せいぞろい”新春宣伝 (1月2日)

しようとしています。軍事費より暮らしの支援、北陸新幹線より子育て支援をすべきです。府会2名市会3名の全員勝利で政治を変えましょう!」と訴えました。

議員日誌

伏見区の交通不便地域解消へ、「交通問題を考える会」のみなさんと申し入れ

伏見の交通問題を考える会は、1月6日に伏見区役所で交通局と都市計画局に、伏見区の公共交通不便地域の解消に向けて申し入れと懇談を行いました。桃山南地域、向島地域、藤城地域から、生活交通の不便な実情についての訴えをしました。桃山南地域からは「地域の大半が鉄道駅から500m以上の地域なのに、公共交通が全くない。駅まで30分以上かかるところもある。高齢者は1時間近くかかる場合もある。アンケート調査の結果、8割が公共交通を求めている。去年の自治会から市への要望の1番目に公共交通があげられている。この現状を市としてどのように判断している



のか。見解を聞きたい。」と厳しく求めました。市の担当者は「実際に各地域を歩いた。住民の皆さんの思いはよくわかるが財政難。採算がとれるかどうかは重要。」などと前向きな答弁はありませんでした。引き続き議会で取り上げる必要があります。赤阪市議と西野市議が参加しました。

2024年2月京都市長選挙へ 民主市政の会第1回全体会

1月8日に来年の市長選挙に向けて、民主市政の会の全体会が開かれました。梶川憲代表委員の開会あいさつの後、中林浩「民主市政の会」代表委員、鈴木ユキ朱い実保育園園長、福山和人弁護士の3者による座談会が行われました。今、京都市が若年子育て層の市外流出を食い止めるためと高さ規制の緩和を進めようとしている事や保育園の補助金カットによる影響、京都市の子育て支援が他都市に比べても大きく送れていること、京都市の財源不足があたかも市民の責任のように言われていることなどがテーマになりました。福山弁護士は「若者が住みやすい町にするためには、例えば特区をつくって若者が入居できる市営住宅をつくることや民間住宅の家賃補助など、できることはいくらでもある。」と提案をされました。税金の使い方でも高齢者も若者も暮らしやすい京都がくれるのですから、来年の市長選挙では市民本位の市長に変えることが重要です。



山宣の墓前に誓う



1月1日は恒例の山宣のお墓参りをしました。山本宣二は京都が生んだ住民の立場での政治家です。銃弾に倒れましたが、その遺志を受け継いで、今年の統一地方選挙での勝利を誓い合いました。